

2025 年度

学生募集要項

◆外国人留学生特別選抜

目次

I. アドミッション・ポリシー(入学者受け入れ方針)	
1. 東北工業大学の建学の精神・教育理念	1
2. 課程・学科の教育方針／アドミッション・ポリシー	2
II. 外国人留学生特別選抜概要	
1. 求める学生像(アドミッション・ポリシー)	3
2. 入試の特徴	3
3. 募集人員	3
4. 出願資格	3
5. 入試スケジュール	3
6. 選抜方法	3
7. 試験場	3
8. 試験の時間等	4
III. 出願方法・出願書類	
1. 出願方法・出願書類	4
2. 検定料	4
IV. 試験に関する事項	
1. 試験当日の諸注意	4
2. 合格者発表	5
3. 個人情報の取り扱いについて	5
4. 特別な配慮を必要とする入学志願者との事前相談	5
5. 入学手続	6
6. 納付金(学費等)	6
7. 入学金優遇制度のご案内	7

I. アドミッション・ポリシー（入学受け入れ方針）

1. 東北工業大学の建学の精神・教育理念

建学の精神

わが国、特に東北地方の産業界で指導的役割を担う高度の技術者を養成する

ブランドスローガン

未来のエスキースを描く。

大学の理念

人間・環境を重視した、豊かな生活のための学問を創造し、それらの統合を目指す教育・研究により、持続可能な社会の発展に寄与する

教育方針

専門家として必要な素地、調和のとれた人格、優れた創造力と実行力を備えた人材の育成

本学の学生が身に付けるべき「共通学士力」

創造力	培った知識・技能を用いて、積極的・主体的にチャレンジし、学問・技術・環境・製品・サービス等、社会に役立つ新たな価値を創造することができる。	① 情報収集・分析力	課題発見・解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・調査することができ、それらの情報を論理的かつ多角的に分析して、現状を正しく把握することができる。
		② 論理的思考力	現象や事実の中に隠れている問題点とその要因を発見して、解決すべき課題を設定することができ、さまざまな条件を考慮して解決策を具体化し、実行に移すことができる。
統合力	創造したものを応用して、社会や人類のために正しく役立てることができるとともに、異文化、異分野、考えの異なるモノや人、多様な物事を組み合わせる柔軟な発想ができ、他者や地域との連携・協力・共創により、社会に貢献することができる。	③ 課題発見・解決力	自らの考えをまとめ、的確な方法・表現で主張することができ、多様な文化・分野の価値観の違いを理解し、他者と協調することができる。
		④ コミュニケーション力	向上心を持って学びを継続し、職業人としての意識を高めるとともに、修得した技術や知識を、社会の一員として主体的に地域の持続的発展のため役立てることができる。
		⑤ セルフマネジメント力	

AEGGポリシー

A 入学受入の方針（抜粋版）

Admission Policy

本学の人材育成の目標達成のため、入学後の成長が期待される人材として、高等学校等において身につけておくべき資質・能力を、以下に示します。

【入学までに身につけておくべき資質・能力】

1. 本学で学ぶ上での基本となる基礎学力（数学・理科・国語・英語など、高等学校で学ぶ全ての教科・科目）と総合的な判断力
2. 専門分野に秀でた能力
3. 意欲的で明確な目的意識
4. 多様な活動実績や一芸に秀でた能力

各選抜において、上記【入学までに身につけておくべき資質・能力】の1～4のうち、いずれかを評価して入学を受け入れます。



E 教育課程表の編成・実施の方針

Education Policy / Curriculum Policy

G1ポリシーに掲げる学士力を身に付けさせるため、以下の方針で教育を行う。

1. 幅広い知識と理解力を養うとともに、共通学士力と専門学士力を身に付けさせるため、体系的な教養教育と専門教育のカリキュラムを編成する。
2. 学士力の向上を意識して学修させるため、各科目と学士力の対応関係を明示するとともに、科目間の繋がりを明確にしたモデルカリキュラムを示す。
3. 学士力の達成度を常に把握し、個々の学生に応じたきめ細かな教育を施すため、初年次から卒業までの継続的な少人数教育並びに個別学修支援を行う。
4. 科目ごとの成績評価と、身に付けるべき学士力との対応関係に基づき、学修成果（学士力到達度）を明示する。

G1 学位授与方針

Graduation Policy / Diploma Policy

本学は、本学が定める教育目的及び教育方針に基づき、各学科所定の卒業要件単位を修得することを通して以下の学士力を身に付けた学生に対し、卒業を認定し「学士」の学位を授与する。

1. 「共通学士力」を身に付けている。
2. 各専門分野（学部・学科）における「専門学士力」を身に付けている。

G2 学生の指導方針

Guidance Policy

本学学生の個性を重んじ、その成長と進路の自己設計のため、また、G1ポリシーに掲げる学士力を身に付けさせるため、以下の方針で学生の指導を行う。

1. 学内外の多様な正課外活動の体験を通して、社会の一員としての意識を醸成するための指導を行う。
2. キャリア教育並びに専門教育科目、研修等を通して、職業人としての意識を醸成するための指導を行う。

2. 課程・学科の教育方針／アドミッション・ポリシー

工学部	【教育方針】	【アドミッション・ポリシー】
電気電子工学課程	電気工学と電子工学を基盤として、システム、センシング、デバイスについて研究を行うと共に、学生が専門分野の知識と技術、さらには異分野との融合・学際領域も含む幅広い知識を修得し、俯瞰的視野を養う実践的教育を行うことにより、将来、ハードウェア、ソフトウェア両技術に柔軟に対応できる人材を育成する。	本学で定める入学条件に加え、以下の条件を満たす人の入学を強く希望する。 1. 電気電子工学に興味を持ち、この分野に関して自ら学び・自ら考え、さらに新しいことに自ら挑もうとする強い意志のある人 2. 今日の高度情報化社会における電気電子、医療、電力、自動車産業の分野で活躍し、自らの専門知識と技術で社会の役に立ちたいと考えている積極性のある人
情報通信工学課程	21世紀の豊かな人間社会を創る上で重要な技術基盤である情報通信技術をソフトウェア、ハードウェアの双方に関し深く教育・研究すると共に、異分野との融合・学際領域も含む幅広い知識を修得し、俯瞰的視野を養うことにより、それらを統合・発展させて社会に貢献できる人材を育成する。	高度情報化社会を支えている情報通信分野に関心を抱き、将来この分野で活躍したいとの意欲と目的を持ち、基礎学力を身に付け総合的な判断力を有する者、あるいは情報通信分野に秀でた能力を有する者、多様な活動実績等を有する者を求める。
都市工学課程	建設技術に関する学術を広く教育・研究すると共に、社会の要請に十分対応できる専門的知識及び科学的知識を身に付け、かつ事業あるいは技術のマネジメント能力を有し、異分野との融合・学際領域も含む幅広い知識・俯瞰的視野及び良識と倫理観をもち、地域社会において実践的な課題を解決する能力を備えた土木・建設技術者を育成する。	社会基盤の計画と建設および維持管理に関心をもち、土木分野におけるリーダーまたはプロフェSSIONナルとして、地域の歴史や風土を生かした未来をデザインし、心豊かに暮らせる個性的で良質な地域社会を創り出そうとする、その意欲と能力のある人を求める。
環境応用化学課程	応用化学および環境学の体系的教育を基礎として、材料開発とその管理・製造技術と、環境影響評価と管理、エネルギーおよび環境保全技術について学び、専門分野の知識・技術と幅広い知識・俯瞰的視野を修得し、もって持続可能な社会の実現および地域社会の発展をめざして創造的に活躍することのできる化学技術者・環境保全技術者を育成する。	材料・素材開発などの応用化学やそれを工業化するための化学工学技術、化学物質による人体・生態系への影響評価と公害防止などの環境保全技術に関心をもち、基礎学力と高い倫理観を身に付け、持続可能な社会を実現していくための工学に根ざした専門能力を築き上げる意欲を持つ人を求める。
建築学部	【教育方針】	【アドミッション・ポリシー】
建築学科	学生個々の主体的学びを促し、教育課程内外および国内外でのさまざまな議論の場を通じて自信と創造力を養い、建物の作り手、使い手双方の視点を兼ね備えた社会に貢献できる建築技術者・設計者を育成する。	●本学科の教育理念を理解した上で、私たちの身近にある暮らしや地域／国際社会における事象に強い関心や興味を抱き、より豊かな暮らしと未来のための生活・地域環境づくりに創造的に、そして真摯に取り組む姿勢と、目標や夢、そして高い倫理観を持つ人を求める。 ●将来、本学科で修得した知識と技能を活かして地域・社会で活躍する建築技術者／設計者を目指して努力しようとする人を入学試験により選抜する。
ライフデザイン学部	【教育方針】	【アドミッション・ポリシー】
産業デザイン学科	人々の生活を豊かにする製品や情報システムを総合的な見地から企画、設計、生産するために必要な感性と技術を教育・研究すると共に、それを創造的に作りあげることができる人材を育成する。	将来、デザイナーや各種クリエイターとして活躍したい、あるいはデザインの学びを様々な仕事に活かしたいと考えている積極的な意欲のある学生を求める。
生活デザイン学科	健康で文化的な生活を守り、住まいや地域社会などの基本的な生活手段を守りながら、安全で安心な暮らしと豊かな生活環境を総合的にデザインすることができると期待できる人材を育成する。	本学科の教育理念を理解したうえで、以下の事柄の二つ以上に向学心や意欲を有する学生を受け入れる方針とする。 1. 福祉・文化・環境などの領域における持続可能なまちづくりにかかわる学びへの向学心があること。 2. 生活・地域にかかわる実務的な知識・技術・デザイン力を身につけたいという具体的な目標を有していること。 3. 身の回りの住まいや暮らしに関心をもち、公共の福祉に貢献できるよう自己研さんを重ねるつよい意志や継続力があること。
経営デザイン学科	企業組織のマネジメント及び企業環境マネジメントを中心とする経済・経営を学ぶと共に、情報技術を含む高いコミュニケーション能力と国際的なセンスを持ち、現代の経営スタイルを身につけた経営者、管理者、起業を志す人材を育成する。	●経営学、会計学、経済学およびそれらをつなぐ技術としての情報通信技術（ICT）を、横断的に学ぶ意欲を持っていること。 ●経営組織マネジメントの分野に関して、自ら学び、自ら考え、日常生活で生じる社会現象に興味・関心を持っていること。 ●地域社会の持続的な発展のために、コミュニケーション能力を発揮して、地域社会の課題解決に取り組めること。

II. 外国人留学生特別選抜概要

1. 求める学生像（アドミッション・ポリシー）

専門的な知識と技術を修得したいという明確な目的意識を持ち、主体的に国際交流にかかわる意欲を持つ者。

2. 入試の特徴

外国人留学生のみを対象とした入試です。11月実施の1期試験と3月実施の2期試験があります。

3. 募集人員

学 部	課 程・学 科	募 集 人 員
工 学 部	電気電子工学課程	若干名
	情報通信工学課程	
	都市工学課程	
	環境応用化学課程	
建 築 学 部	建築学科	
ライフデザイン学部	産業デザイン学科	
	生活デザイン学科	
	経営デザイン学科	

4. 出願資格

外国籍を有し、次の要件をすべて満たしている者

- (1) 国の内外を問わず学校教育における12年以上の課程を修了した者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。ただし、日本の教育制度に基づく中学校、高等学校の在籍期間が通算3年以内の者。
- (2) 日本語能力に関して、2024年度「日本留学試験」の「日本語」を受験し「200点」以上を取得している者、または2024年度「日本語能力試験」でレベル「N2」以上に合格している者、もしくはこれらに準ずる日本語能力を有する者。
- (3) 確実な身元保証人がいる者。
身元保証人は日本国内に居住する独立した生計を営む成年者で、本人の学費や一身上に関する事等を含む一切の責任を連帯して負うことができる者であること。
なお、外国人の場合は、少なくとも留学期間中、在留して保証し得る者であること。

5. 入試スケジュール

出 願 期 間	1期：2024年10月7日(月)～10月21日(月)必着 2期：2025年2月3日(月)～2月14日(金)必着
試 験 日	1期：2024年11月22日(金) 2期：2025年3月5日(水)
合 格 者 発 表	1期：2024年12月2日(月)15:00 予定 2期：2025年3月14日(金)15:00 予定
入 学 手 続 期 限	1期：2024年12月20日(金) 2期：2025年3月19日(水)

6. 選抜方法

書類審査、筆記試験(日本語による小論文 80分/800字程度、テーマは一般的な内容)、面接を総合的に評価して選抜します。

7. 試験場

仙台（本学八木山キャンパス） 住所：宮城県仙台市太白区八木山香澄町 35 番 1 号

8. 試験の時間等

学部／課程・学科	時間	9 : 00～9 : 45	10 : 00～11 : 20	11 : 45～ (面接終了後解散)
全学部／全課程・学科		受験生 試験室入室	筆記試験 (小論文)	面接試験

Ⅲ. 出願方法・出願書類

1. 出願方法・出願書類

出願書類	<p>日本語または英語で記載された原本を提出してください(コピー不可)。それ以外の言語で書かれている場合は、必ず公的機関(大使館・領事館等)や日本語学校等が証明する和文翻訳をしたものを添付してください。海外の公証役場による証明は認めません。</p> <p>①志願票 [A票、B票]、受験票(本学指定用紙) ②志願理由書(本学指定用紙) ③顔写真2枚(タテ4cm ヨコ3cmを所定欄に貼付) (顔写真は、正面向き、上半身脱帽、無背景、目元輪郭を隠していないもので、出願前3ヶ月以内に撮影したもの。写真と本人を試験室で照合します。) ④中等教育機関(日本の高校に相当するもの)の卒業(見込)証明書 ⑤中等教育機関(日本の高校に相当するもの)の成績証明書 ⑥日本語能力に関する試験の成績を証明する公式スコアの書類もしくは合格を証明する書類 ※「2. 出願資格」の(2)を証明する成績通知書等。(コピー可) ⑦住民票(日本在住者のみ) ⑧パスポートのコピー ※パスポートは、氏名・国籍・パスポートNO.・発行年月日記載部分をA4サイズの用紙にコピーしてください。 ⑨出願時に日本語学校に在学している者は、在学している日本語学校の卒業(見込)証明書と成績証明書</p> <p>※上記の出願書類以外のものは同封しないでください。一度提出した書類は返還、差し替えはしません。</p>
書類送付先	<p>〒982-8577 宮城県仙台市太白区八木山香澄町 35-1 東北工業大学 入試広報課</p> <p>・ 出願書類は、『簡易書留』で郵送してください。 ※郵送のみ受け付けます。 ・ 受理した書類および入学検定料は事由のいかんにかかわらず返還いたしません。 ・ 出願後の志願課程・学科の変更はできません。</p>

2. 検定料

検定料	<p style="text-align: center;">30,000 円</p> <p>ゆうちょ銀行発行の「普通為替証書」のみ受け付けます。出願書類に同封してください。 ※送付の際、「普通為替証書」には何も記入しないでください。</p>
-----	---

Ⅳ. 試験に関する事項

1. 試験当日の諸注意

【受験票について】

受験票は出願締切後に発行を開始し、封筒にて郵送します。試験日の前日までに受験票が届かない場合は、入試広報課までご連絡ください。

【試験会場について】

- ・ 試験会場は、本学八木山キャンパスです。

- ・各試験開始時刻の15分前までに試験室に入室してください。
- ・遅刻は、試験開始後20分まで認めます。

【受験上の留意事項】

- ・受験票以外で机の上に置くことを許可するのは、鉛筆・鉛筆キャップ・シャープペンシル・消しゴム・鉛筆削り・時計(計時機能のみ)・ハンカチ・目薬・ティッシュペーパー(袋から取り出したもの)およびメガネです。
- ・昼食が必要な場合は、各自用意してください。

【不正行為の取り扱いについて】

- ① 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、すでに受験している科目がある場合は全ての試験の成績を無効とします。
 - ア. 解答用紙等へ故意に虚偽の記入(出願時に本人以外の写真を提出することや解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど。)をすること。
 - イ. カンニング(試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。)をすること。
 - ウ. 他の受験者に答えを教えるなどカンニングの手助けをすること。
 - エ. 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
 - オ. 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
 - カ. 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めたりすること。
 - キ. 試験時間中に、定規(定規の機能を備えた鉛筆等を含む。)、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
 - ク. 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。
 - ケ. 「やめ。鉛筆を置いてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けたりすること。
- ② 次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、①と同様です。
 - ア. 試験時間中に、定規(定規の機能を備えた鉛筆等を含む。)、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身につけていたり手に持っていたりすること。
 - イ. 試験時間中に携帯電話や時計等の音(着信・アラーム・振動音など。)を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
 - ウ. 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。
 - エ. 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - オ. 試験場において監督者等の指示に従わないこと。
 - カ. その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

2. 合格者発表

発表日に、合格者の受験番号を本学Webサイトに掲載するとともに、合格者に対しては、合格通知書および入学手続書類を送付します。なお、電話による問い合わせには応じかねます。

3. 個人情報の取り扱いについて

出願書類に記載された、氏名、住所その他の個人情報は、入学者選抜、入学手続および入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入学者の選抜、入学手続き、入学前教育、入学後の学生支援、修学指導、学修成果に係る調査分析およびこれらに付随する業務を行うために利用します。その他の目的に利用することはありません。

※上記、個人情報の取扱いについて、同意いただける場合は、志願票の所定欄にご本人の署名をお願いします。

4. 特別な配慮を必要とする入学志願者との事前相談

特別な配慮を希望する入学志願者は、事前打合せが必要となりますので、出願前の早い時期に入試広報課へお問い合わせください。ただし、相談の内容および時期によっては、試験までに対応できず、特別措置による受験ができなくなることもありますので、ご了承ください。

【連絡先】 東北工業大学 入試広報課 TEL: 022 - 305 - 3111

5. 入学手続

入学手続は、入学手続期間内に下記該当の納付金を納入し、同時に入学手続書類を提出することによって完了します。入学時納付金は、学費とその他・委託徴収金の合計になります。

課程・学科	入学時納付金
工学部（全課程）・建築学部（建築学科）	973,660円
ライフデザイン学部（産業デザイン学科）	973,660円
ライフデザイン学部（生活デザイン学科）	838,660円
ライフデザイン学部（経営デザイン学科）	773,660円

〔注意〕 ・一旦納入された入学金は事情のいかんにかかわらず、返還いたしません。

・入学手続期間内に所定の手続を行わなかった場合は、入学の意志がないものとみなします。

・入学手続を完了された方で、入学辞退を希望する場合は、2025年3月31日（月）17時（必着）までに入学辞退届と入学納付金返還請求書の提出を行えば、入学金を除く全ての納付金を返還します。

6. 納付金（学費等）

（1）学費

2025年度外国人留学生に適用する学費は次のとおりです。

工学部（全課程）・建築学部（建築学科）・ライフデザイン学部（産業デザイン学科） 単位：円

費用	年次	1年次		2年次	3年次	4年次	摘 要
		入学手続時	10月	年額	年額	年額	
入 学 金		250,000	—	—	—	—	入学時のみ
授 業 料		505,000	505,000	1,010,000	1,010,000	1,010,000	年額を2期に分納
設 備 負 担 金		160,000	160,000	320,000	320,000	320,000	
学 生 諸 費 分 担 金		10,000	10,000	20,000	20,000	20,000	
計		925,000	675,000	1,350,000	1,350,000	1,350,000	—

ライフデザイン学部（生活デザイン学科） 単位：円

費用	年次	1年次		2年次	3年次	4年次	摘 要
		入学手続時	10月	年額	年額	年額	
入 学 金		250,000	—	—	—	—	入学時のみ
授 業 料		385,000	385,000	770,000	770,000	770,000	年額を2期に分納
設 備 負 担 金		145,000	145,000	290,000	290,000	290,000	
学 生 諸 費 分 担 金		10,000	10,000	20,000	20,000	20,000	
計		790,000	540,000	1,080,000	1,080,000	1,080,000	—

ライフデザイン学部（経営デザイン学科） 単位：円

費用	年次	1年次		2年次	3年次	4年次	摘 要
		入学手続時	10月	年額	年額	年額	
入 学 金		250,000	—	—	—	—	入学時のみ
授 業 料		355,000	355,000	710,000	710,000	710,000	年額を2期に分納
設 備 負 担 金		110,000	110,000	220,000	220,000	220,000	
学 生 諸 費 分 担 金		10,000	10,000	20,000	20,000	20,000	
計		725,000	475,000	950,000	950,000	950,000	—

（2）その他・委託徴収金（各学部／課程・学科共通） 単位：円

費用	年次	1年次		2年次	3年次	4年次	摘 要
		入学手続時	10月	年額	年額	年額	
教育研究災害傷害保険		3,300	—	—	—	—	4年分
教育研究賠償責任保険		1,360	—	—	—	—	4年分
後 援 会 費		14,000	—	14,000	14,000	14,000	年額
学 友 会 費		25,000	—	—	—	—	4年分
同 窓 会 費		5,000	—	—	—	20,000	入学時：入会金／卒業時：終身会費
計		48,660	—	14,000	14,000	34,000	—

〔注意〕 本学では学園の施設整備資金の一部に充当させていただくため寄付金を募集しておりますが、あくまで任意の募集であり、入学以前にご協力をお願いすることは行っておりません。

7. 入学金優遇制度のご案内

この制度はご家庭の経済的な負担軽減を図るため、入学予定者の兄弟姉妹が東北工業大学の学部^に在籍、または同時に入学[※]する場合に、入学手続き時に納入した学費のうち入学金(250,000円)を対象として助成(給付)する優遇制度です。(※同時入学者については内1名が対象となります。)

申請資格は以下のとおり。(①～③すべてに該当すること。)

- ① 東北工業大学の学部へ入学予定である。
- ② 申請時に兄弟姉妹が本学の学部^に在籍している。または、同時に入学を予定している。
- ③ 入学手続きの途中、また完了している。

詳細は、合格通知書に同封される「2025年度入学手続きの手引き」をご確認願います。

2025 年度

学生募集要項

◆外国人留学生特別選抜

未来のエスキースを描く。

東北工業大学

[お問い合わせ]入試広報課

〒982-8577 仙台市太白区八木山香澄町 35 番 1 号

TEL.022-305-3111 FAX.022-228-1813

E-mail nyushi@tohtech.ac.jp

<https://www.tohtech.ac.jp>